

千里メイプル ロータリークラブ

創立 1998年6月13日



例会日 毎週木曜日 18時30分
例会場 ル・ジャルダン
会幹 長 山田 克子
事 山本 友亮

2022-2023年度 RI テーマ

IMAGINE ROTARY
(イマジン・ロータリー)

会長 ジェニファー E. ジョーンズ

2022年 9月 8日発行 会報第1115号

今週のプログラム

(2022年9月8日 第1115回例会)

《ZOOM例会》

ファイアーサイド・ミーティング

担当：山田 克子 会長

次回のプログラム

(2022年9月22日 第1116回例会)

『お月見例会』

担当：藤田 芳浩 親睦委員長

第1114回例会 (2022年 9月 1日) の記録

「会長の時間」

山田 克子 会長

本日の卓話ゲストのお客様は、第2660地区の国際・社会奉仕委員長 高槻東ロータリークラブの高木 大介様です。高木様 本日はZOOM 例会にお越し頂きありがとうございます。

画面からのご挨拶で申し訳ありませんが、本日はよろしくお願い致します。

高木様が所属されておられます高槻東ロータリークラブは1973年3月1日に創立され、まもなく50周年を迎えられます。カンボジア支援や東日本大震災など様々な災害において奉仕活動をされていますが、災害以外でも近年ではコロナ禍の去年2021年12月に大阪医科薬科大学の小児科病棟に入院中の子供達にクリスマスプレゼントを贈られています。「入院中の子供達に笑顔届けたい」という思いからコロナ禍で頑張っている子供達に温かいエールを贈られました。それを知り私まで温かい気持ちにさせて頂きました。

さて本日9月1日は関東大震災の日であり「防災の日」でもあります。

1923年大正12年9月1日に発生した関東大震災にちなんで「災害への備えを怠らないように」との戒めも込められ9月1日は「防災の日」と決められたようです。本日政府が南海トラフ大地震も想定した総合防災訓練を実施しました。

海外の災害では2日前の8月30日、パキスタンで豪雨による洪水で国土の3分の1が水没し史上最悪の事態となっているようです。歴史あるインダス川周辺の緑溢れた地域も大洪水で7人に1人が被災しています。私たちも岡山真備町豪雨災害で山本加奈子先生のボランティア活動に少しばかりの物資の支援をさせていただいた事がありましたが、私達の暮らすこの区域でも、台風や豪雨による川の氾濫に備え、訓練と準備をしておく必要があると思います。

箕面川や千里川では氾濫などありえない、そんな油断が命に関わる危険を防止できない事になるかもしれません。身近な災害を予測しておくことは他人事ではないと思います。

—**—**—**—**—**—**—**—**—**—**—**—**—**—**—**—**—

<9月のお誕生日>

村田 純子会員 (8日) 高尾 修会員 (20日)

HAPPY BIRTHDAY!

<本日のビジター> RI 第 2660 地区 国際・社会奉仕委員会
委員長 高木 大介様 (高槻東 RC)

<出席報告>

会員数 (内免除会員 1 名) 19 名
本日の会員数 13 名
(内出席免除会員 1 名)
(内名誉会員 0 名)
本日の ZOOM 出席率 68.42%

<ロータリーソング> 全会員

♪国歌 君が代♪
♪奉仕の理想♪
奉仕の理想に 集いし友よ
御国に捧げん 我等のなりわい
望むは世界の 久遠の平和
めぐる歯車 いや輝きて
永久に栄えよ 我等のロータリー

<幹事報告>

山本 友亮 幹事

1. 宮里ガバナーより「8月青森県大雨災害支援金のお願い」が参りました。
被害地域を抱える第 2830 地区ガバナーより全国の地区ガバナーに対して支援金のお願いを発信されているとのこと。支援金額については本日理事会で諮る事に致します。
2. 茨木東・茨木西各 RC よりクラブ概況報告書が届きました。
3. 本日例会終了後、理事会を開催致しますので、理事・役員は ZOOM にお残り下さい。

<9月1日理事会議事録>

山本 友亮 幹事

① お月見例会について

お月見例会を9月中に実施する方向で、プログラムの変更を行う。
9月8日にファイアースイド・ミーティングを前倒して、例会終了後にお月見例会を22日もしくは29日に実施するかを決定する。

② 放課後 Kids への支援金の実施時期について

今年度も引き続き15万円の支援を実施することに決定。
送金時期は松田・木下両委員長に一任する。

③ 青森県大雨災害支援要請について

今回の支援金も通例通り、クラブから2万円を支援する。

④ 関西大学留学生との交流会について

昨年は会員がル・ジャルダンにて例会を行い、留学生は ZOOM にての出席 (大学側の要請) であったが、今年は留学生もル・ジャルダンでの出席を目指して木下委員長が大学との打ち合わせを行う。

<卓話>

【地区国際・社会奉仕委員会より】

地区国際・社会奉仕委員会 高木 大介委員長

皆さんこんばんは、今年度、地区国際社会奉仕委員長を務めさせていただいております高木大介と申します。

この度は地区当委員会に卓話のご依頼を賜りまして誠にありがとうございます。

また、例会の貴重なお時間をいただき重ねて感謝申し上げます。

本来でしたら、千里メイプル様にお伺いさせていただきまして、皆様と直接顔を合わしたいところではございましたが、状況が状況でございますのでズームという形にはなりましたが、皆様にお伝えすべく努めてまいりますので、何卒最後まで宜しく願い申し上げます。

若干だけ私のことをお話しさせていただきますと、ロータリー歴は約10年、現在45歳です。

所属は高槻東ロータリークラブで地区出向は5年目になります。

4年間は地区社会奉仕委員会に所属しており、5年目の今年、委員長を務めさせていただいております。若輩者で不慣れなところが多くございますが、真摯に努めてまいりますのでお許しいただければ幸いです。

地区委員会合併について

さて、まずは今年度地区委員会が合併した経緯に関してお話させていただきます。

これは、今年度突然ふってわいたお話ではなく、近年のRIの流れを受けまして、組織のスリム化が実現化されたものでございます。近年RIが推奨しております。クラブリーダーシッププラン、いわゆるCLP、そして、地区リーダーシッププランDLPに基づきまして、奉仕活動の質の向上や会員の増強を念頭に置いた、中長期的な計画の下、当第2660地区におきまして合併という形になりましたことをまずはご理解いただきたいと思っております。委員会内には国際奉仕小委員会と社会奉仕小委員会、2つの小委員会を設け、それぞれの担いはこれまでの国際奉仕・社会奉仕と同様にございますが、会議は合同で行いまして情報を共有し、かつ委員会活動においても垣根なく参加して参る形となっております。

地区委員会合併に期待する効果

そして、地区委員会合併に伴って期待される効果ということでございますが、現在行われている奉仕活動に関して、国内地域では社会奉仕、国外のことは国際奉仕と分けられていると思っておりますが、国内の活動であっても、国際的な要素を含んだ活動であるならば、国際奉仕の一面をもっており、また、国際的な活動であっても、紡いでいくのは国内からの発信で、そこにかかわっておられる方々は国内の方々もたくさんおられると思っております。やはり相互的に国際と社会が関係していることから、地区におきましては、合併することで情報が共有しやすくなると考えております。そうしたことから、国内、国外の垣根を越えて情報を共有することで、より質の高い奉仕活動へと繋がるのではないかと考えます。昨今の情報社会では、様々なSNS媒体などにより情報を瞬時にキャッチ、発信できます。国内、世界と瞬時に繋がることのできる昨今において、国際と社会の連携は重要かつ必然的でさらなる奉仕活動の広がりが期待できると予測されます。

奉仕活動の現状

各クラブによって活動の規模は様々ですし、例年継続的な奉仕活動を展開されているクラブも多いかと思えます。私が所属する高槻東ロータリークラブでもそうですが、新規事業に前向きであったとしても、人数の問題などでそれがままならないクラブも多数あると思えます。

さらに、このコロナ禍においては地域もさながら、世界的パンデミックにおいて 活動の低下を余儀なくされているクラブも多いかと思えます。

しかしながら、コロナ禍において本当に援助を必要としている方がたくさんいらっしゃるのも現実です。ロータリアンとしてはこうした状況においてこそ、より力を合わせてロータリーの精神をもって行動に繋げていくべきではないかと考えます。

それを受けまして、このほど地区委員会では各クラブ様にアンケートをお願いしております。

この数年間、コロナ禍におきまして、例会の開催もままならない中ではありますが、各クラブが行われた奉仕活動をご回答いただき、また、他クラブの奉仕事業内容をご覧くださいることによって、自クラブの奉仕活動の企画においてご参考にしていただければと思います。数年前にもこうしたアンケートを当時の社会奉仕委員会におきまして実施いたしました。これは私の経験則ではございますが、私も自クラブの社会奉仕委員長をした際にそのアンケートが非常に参考になりました。今回はさらにコロナ禍ということでのアンケートということになりますので、ロータリアン自身も大変な状況の中でたくさんの方の奉仕活動が行われた一覧を拝見しておりますと、ロータリークラブが率先して奉仕活動を行っている団体であると再認識いたします。

また、地区ではクラブ間のマッチングも推奨しております。

発案はあるものの実際に実行までとなると、自クラブだけではままならない場合もあることから、近隣のロータリークラブあるいは各諸団体と連携して事業を行うというような形も推奨しております。その際にクラブ間をつなげたり、諸団体をご紹介したりとクラブのお悩み事といえますか、クラブへの一助となることが本来地区委員会の役割でございますので、是非ともお気軽にご一報いただければ幸いです。

奉仕活動のこれから

さて、今、ロータリークラブは次のステップに差し掛かっていると考えます。

近年の課題であります、会員の増強、および広報活動、これらはこれまでのロータリークラブの在り方とこれからのロータリークラブを考える機会となっていると思えます。クラブを越えたマッチング、情報のキャッチおよび発信。奉仕活動を質の高いものにしていくには、スピード感も重要だと考えます。RACとの連携や、SNSなどの媒体を活用いただき、これからの時代の奉仕活動へと繋げていければと思います。援助が本当に必要としているところに届いているか、奉仕活動に質の高い低いはないのかもしれないかもしれませんが、今本当に困っている人に手を差し伸べることができているのか。奉仕活動を構築する際に、地域社会との連携において様々な機関からヒアリングなどを行い、人道奉仕活動において、質とインパクトの高い、タイムリーな奉仕活動が行われることを期待します。コロナ禍において様々な分野で援助を必要としている人がおられます。吉川ガバナーより継続しております、貧困家庭・児童・学生支援を重点項目におき、特に子供たちが犠牲になっているケースにおいては、そこに手を差し伸べて、未来への希望に繋げていっていただければ幸いです。

千里メイプル RC 様におかれましては、福島のロータリークラブと姉妹提携を結ばれたり、ラオスにおいては子供たちへの保健衛生支援活動を行ったりと、国内、国外と活発的に活動されておられるとお聞きしております。是非ともそういった素晴らしい活動を広報も含めて広めていただきます様今後ともお願いしたいと思います。

世界平和を願って

現在、今こうしてお話しさせていただいている間でも、弱者が犠牲になっており、非人道的な殺戮が繰り返されております。報道を見るたびに心が張り裂けそうになります。人々は生活を追い込まれ、毎日毎刻と悲しみが生まれております。前年度吉川ガバナーより引き続き今年度宮里ガバナーの下、ウクライナに対しての支援を当地区では積極的に行っていく次第です。内容に関しましては現在ウクライナのロータリークラブと連絡を取り、どのような支援を必要としているかのヒアリングを行っております。タイムリーでかつ迅速な支援が必要とされておりますので、是非とも積極的にご参加いただきます様お願い申し上げます。

とはいえ、地区委員会は基本あくまで各クラブへのサポートをおこなう機関でございますので、地区が主体になって事業を展開するものではございません。

各クラブにご発案、ご提案いただき、補助金を含めたプランニングをサポートしてまいります。政治的なことは繊細なこととは思いますが、しかしながら、やはり大変な被害に遭われているたくさんの方々を少しでも援助するべく我々ロータリアンが動かないといけないのではないかと思います。世界がコロナと戦っている一方、人と人が戦っており、完全に戦う相手を間違えているのではないのでしょうか。

喫緊の課題であるウクライナ支援に関しましては、ロータリー会員の共通認識だと思いますので是非とも地区のホームページやご連絡を意識していただき情報を取り込んでいただけたら幸いに存じます。先の地区国際社会奉仕委員長会議では、命からがら日本にこられた22歳のウクライナ人の青年にお話をいただく予定になっております。国際・社会奉仕委員長の両名におかれましては重ねてご出席をお願いするとともに、自クラブにお帰りになった際、ご報告いただければうれしく思います。

さて、本日は地区国際・社会奉仕の次年度の考えを個人的な意見も含めて包括的にお話しさせていただきましたが、基本は各クラブの親睦や活動が最も大切と考えます。何卒皆様のロータリー活動が楽しく充実されたものになるよう祈念いたしまして、私からの卓話のお礼のご挨拶とさせていただきます。

若輩者の拙いお話で、失礼があったかとは思いますが、どうぞお許してください。

ご清聴、誠にありがとうございました



高木 大介様